

## 自殺対策計画の進捗状況について

### 1 糸魚川市自殺の実態について（資料 No2-1）

令和2年度は、コロナ禍で自殺対策事業が縮小されていた中でしたが、過去10年で最も自殺者数が少ない状況でした。しかし、令和3年度は10月現在、8名と増加傾向となっています。

糸魚川市の傾向として、男性は30代から80代以上にかけての幅広い年代、女性は60代以上の高齢者の自殺が多い傾向が続いています。原因動機において、最も多いのは健康問題、次いで経済・生活問題となっています。男女ともに同居家族のいる自殺者が多く、特に女性は顕著です。これらの傾向をふくめ、今後も自殺対策を推進していく必要があります。

### 2 自殺対策計画進捗確認について（資料 No2-2）

自殺対策計画の重点施策に関する進捗確認を実施しています。令和2年度の実施状況、評価は資料のとおりです。

コロナ禍の影響により、重点施策1「こころの健康問題への理解促進」について、事業の実績値が減少しましたが、見守り強化を目的に、重点施策3「高齢者への自殺対策強化」において、関係者との連携強化に努めました。

### 3 今後の課題について

コロナ禍により、普及啓発に関する事業が大きく縮小されていますが、令和3年度の自殺者数の増加から、コロナ禍の影響による閉じこもりや家族・親戚との疎遠による孤立等、自殺リスクも高まっていると推測されます。機会をとらえて、こころの健康づくりの普及啓発、対策を実施していく必要があります。

また、若年者のひきこもりや不登校、リストカット等の相談が増加していることから、関係機関との情報共有、対応力の強化を図っていく必要があります。